

大阪湾漁場環境速報

平成22年 4月 7日発行
兵庫のり研究所

神戸市沿岸～湾奥部～大阪府沿岸でスケルトネマを優占種とした小型珪藻が再び増加しており、湾奥部を中心に強い赤潮を形成しています。また、神戸市沖および淡路島周辺では、夜光虫（ノクチルカ）による赤潮も確認されました。

(水温) 表層は湾内11～13℃台で平均12.0℃。平年(過去10年平均 11.6)比0.4℃高く、ほぼ昨年(11.9)並。-10m層は平均11.4℃で、平年(11.1)比0.3℃高い。

(塩分) 表層平均30.17psu(平年 31.45)。-10m層平均31.89psu(平年 32.25)。河川等からの出水により、塩分は湾全般に平年より低い。

(栄養塩、他) 表層の窒素濃度は平均3.1μg-at/L、リン濃度は平均0.20μg-at/L(夜光虫由来の栄養塩により高い値を示したSt.04, 09を除く)。窒素は平年(5.4)より低く、リンはほぼ平年(0.19)並の値を示している。-10m層(平均)は、窒素4.5μg-at/L、リン0.32μg-at/L。表層塩分が低い海域でスケルトネマ(優占種)やタラシオシラなど小型珪藻の増殖が再び活発になっており、湾奥部を中心に強い赤潮を形成している。珪藻赤潮海域では、表層～水深5m程度で珪藻の発生量が多いため、表層の栄養塩が一部を除き低い値を示しているが、-10m層での発生量は湾全般に少なく、窒素は概ね3～5μg-at/L

上段(今回値)	平成22年 4月 6日調査
中段(昨年値)	平成21年 4月 6日調査
下段(平年値)	

調査地点	水温(℃)	塩分(psu)	三態窒素(μg-at/L)	燐酸(μg-at/L)
04	12.4	31.76	9.8	0.73
	12.5	32.86	3.9	0.35
	12.3	32.83	3.6	0.25
05	11.4	31.40	2.4	0.21
	11.6	32.25	3.3	0.34
	11.3	32.05	3.5	0.22
06	11.1	31.75	4.3	0.26
	11.1	32.16	4.7	0.42
	10.8	32.10	3.8	0.24
07	11.8	31.56	2.3	0.22
	13.2	32.17	2.8	0.30
	11.9	31.89	3.3	0.18
08	12.5	32.33	4.6	0.31
	13.1	31.50	5.5	0.61
	12.1	31.77	3.4	0.18
09	12.6	32.08	44.8	2.18
	12.5	31.51	3.8	0.46
	12.0	32.08	2.6	0.18
010	11.9	30.96	0.4	0.12
	12.1	30.89	0.4	0.13
	11.6	31.43	3.9	0.13
012	11.5	29.12	1.0	0.12
	11.6	30.68	1.0	0.16
	11.7	30.71	6.6	0.13
013D	13.2	28.05	0.5	0.11
	11.5	30.92	1.3	0.09
	11.6	30.42	15.2	0.23
016	12.3	24.26	2.2	0.14
	11.3	28.09	27.1	0.19
	11.3	28.37	17.8	0.20
017D	13.3	22.14	7.2	0.15
	12.0	28.69	67.7	0.82
	11.7	28.56	75.0	1.12
018	12.7	12.23	63.6	1.41
	12.6	25.71	46.3	0.26
	11.9	23.88	54.1	1.00
S1	12.1	25.95	10.4	0.19
	11.3	31.78	4.0	0.37
	10.9	31.58	5.7	0.20
S2	11.9	27.63	0.4	0.13
	11.1	30.61	0.4	0.10
	11.1	30.21	9.4	0.14
S3	11.7	31.25	1.7	0.17
	12.0	32.20	3.4	0.33
	12.2	31.52	4.2	0.17
S4	13.1	32.13	4.8	0.35
	11.8	32.03	0.6	0.12
	12.0	32.38	3.1	0.19



